

# 令和元年度 学校法人 今川学園 事業報告書

## 1、法人の概要

- ①名称：学校法人 今川学園 【昭和45年11月26日設立】
- ②住所：大阪府松原市天美北3-10-18  
電話番号 072-337-1580  
ファックス 07-336-3843  
ホームページ <http://www.KONOMI-k.ed.jp>
- ③設置する学校：木の実幼稚園  
定員480名  
実員374名 (平成30年度 366名)
- ④理事長氏名：今川公平  
\*理事7名 評議員15名 監事2名 定例理事会年2回開催
- ⑤教職員の状況  
木の実幼稚園：教員34名(内3名産休中) 職員1名 派遣職員5名  
給食調理員4名  
令和元年度 新規採用者3名  
平成31年度 退職者2名

## 2、木の実幼稚園の概要

### ①定員、学年、実員内訳、学級数

定員480名	令和元年	幼稚園児実員374名		
	3歳児	6クラス	122名	前年度118名
	4歳児	5クラス	120名	前年度132名
	5歳児	5クラス	133名	前年度118名
			375名	366名
	未就園児クラス		37名	前年度 40名
	総合計		412名	前年度406名

### ②教育目標及び方針

#### 【教育目標】

#### a, 生活指導上の基本目標

- ・あいさつが出来る。 ・感謝の気持ちが持てる。
- ・けじめがつけられる。 ・自分のことは自分で出来る。
- ・友達のことも思いやる事が出来る。

#### b, 表現活動を通して、豊かな「感性」と「心」を育てる。

～造形、音楽、言葉による表現活動を通して、感じたことを素直に表現し、遊ぶ心を育てる。

c, 自分で考え、行動できる子供に育てる。

～いろいろな事柄、現象に興味を持ち、「何故」「どうして」「どうなるだろう」と考えられる力を育てる。

d, 友達と積極的に遊び、いろいろな遊びの工夫出来る子に育てる。

e, いろいろな遊びを通して、健康な心身を育てる。

### ③保育時間

- 月曜日～金曜日 Aグループ 9:10～13:40  
Bグループ 10:10～14:40
- 土曜日 月1～2回の親子の集い

### ④保育料及び諸経費

- 保育料  
全学年～ 29,000円/月 ～給食費4,500円を含む。
- バス協力費: 4,120円/月

### ⑤入園時の費用

- 入園料: 1,2年保育～40,000円 3年保育～50,000円
- 設備協力費: 20,000円

### ⑥預かり保育

- 月～金曜日: 13:40～17:00
- 午前8時から保育始業まで早朝預かり保育を実施
- 夏休み及び冬休み中の預かり保育を年間20日間実施

### ⑦行事の実施状況

- 4月/入園式、始業式
- 5月/創立記念日、身体計測、個人懇談会、春の遠足、防犯訓練
- 6月/プール開き、参観日、耳鼻検診、視力検査、内科検診
- 7月/七夕祭り、宿泊保育、終業式、夏季保育、夏季特別預かり保育
- 8月/夏休み、地蔵祭り、夏季保育
- 9月/始業式、参観日、火災避難訓練、移動動物園3回、体験入園
- 10月/運動会、新入園児面接、参観日
- 11月/秋の遠足
- 12月/音楽発表会、個人懇談会、クリスマス会、終業式
- 1月/始業式、防災訓練、参観日、身体計測、歯科検診
- 2月/節分、造形展、入園準備説明会
- 3月/雛祭り、お別れ遠足、卒園式、終業式

## ⑧実施した事業の概要

### 1 清掃業務の外部委託、預かり申し込みシステムの IT 化を導入した。

- ・平成30年度には「働き方改革」の第一ステージとして、労働時間の見直し、残業時間に見合った手当の制度化を進めたが、第二ステージの本年度は、教職員の事務仕事の効率化を進めるために、教員の保育室清掃業務の一部外部委託化を実施。また預かり保育申し込みシステムの IT 化による教職員の負担軽減と効率化を行った。

### 2、インターネット・SNS による新しい広報の取り組みを構築した。

- ・新しいデバイスに見合ったホームページのリニューアルし、また新たに YouTube による幼稚園紹介番組を2本製作し、インスタグラムによる情報発信を定例化した。

### 3、教職員の研修に新しい取り組みを導入した。

- ・幼児教育アドバイザーの資格を取得した主事と総主任が中心となって、教員の自主企画による研修会を月一回、終礼の後の時間を活用して開催する。テーマは、保育実践に直結するものとし、園児の身辺自立の指導、朝の会や会話の実践報告、コーナー活動の新しい取り組みの実践報告、安全・保健衛生の改善などを主体に進める。
- ・学期ごと、夏季・冬季にグループ協議主体の研修会を企画、実施する。

### 4、「保育支援」担当教員を設けた。

- ・産休明けの経験豊富なベテラン正教員を、若手教員の指導・サポートする事を主な業務とする「保育支援」担当教員として活用する新しい制度を導入した。

### 5、新ホールの建築案を決定した。

- ・基本計画は、すでに平成23年から24年の園舎耐震化・新築工事を担当したモノスタ70建築事務所と平成30年度より検討を開始していたが、新ホールの機能・内装・外観についてのデザイン案を決定した。工事着工は新型コロナウイルス禍の為、令和2年度着工を延期することに決定した。

## 3、財務の概要

平成30年度に、月額保育料を1500円値上げし24500円に、給食代部分を100円値上げし4500円に、合計29000円と設定し、財務の改善を図ったが、令和元年度決算では人件費、管理費の伸びが大きく、それぞれ対前年比951万円増加、727万円増加という結果となり、資金収支では1267万円の赤字決算に陥った。前年度も660万円の赤字を計上したが、保育料の値上げでは追いついていない現状である。

人件費については、保育支援教諭や預かり保育担当教諭の増員、残業代の増加が主たる原因と思われる。管理費については、消耗品費支出の増加が大きく、インターネット関連費、教材費や事務費の増大が原因と思われる。残業代の抑制を図り、消耗品費全体の見直しが急務である。

令和2年度には、給食に係る管理費=契約費の大幅値上げがあり、またバス運転士派遣費用の値上げも決定していることから、コストの増加は必至であり、保育料を一気に31000円に、給食食材費を4000円に値上げする事で、収支を安定させる計画である。

保護者負担については、令和元年度10月より毎月25700円給付されることから、保護者負担も大きく軽減される事となるが、保育料値上げについては、安易な便乗値上げではない事を丁寧に説明し、教育の質向上の為、教職員の処遇改善が必要であることの理解を進めていく事が何より必要である。